PART3　バリアフリーとユニバーサルデザイン

目標
- 全ての人に伝わるデザインを作る意義を理解する。
- バリアフリーとユニバーサルデザインの違い，それぞれの代表例を理解する。

Chapter1　全ての人に伝わるデザイン

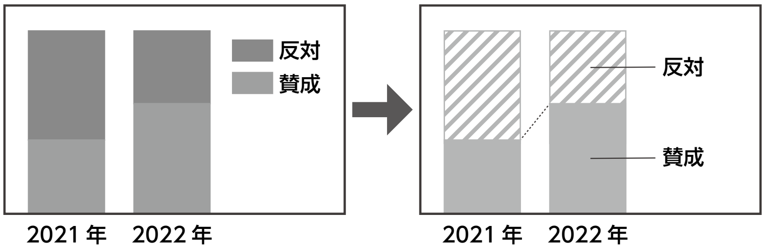
全ての人に伝わるデザイン

世の中にはさまざまな立場の人がいる。設計者は「自分にとって分かりやすいデザイン」ではなく，「全ての人」に伝わるデザインを作ることが求められる。

バリアフリーとアクセシビリティ

〔① 〕：多様な色の見え方に配慮したデザイン。色だけでなく文字や数字の情報を加えることで，情報を判断しやすくすることができる。

知っておこう
その他のバリアフリー事例として，映画の「バリアフリー字幕（効果音や発話者に関する情報も含んだ字幕）」などがあげられる。



〔② 〕：幅広い人が使えるかどうかの尺度。使えない状態を使える状態にすることを目的として設定する。「アクセシビリティの高い Web サイト」のように使う。

重要
ユーザビリティが「使いやすさ」を示す尺度であるのに対し，アクセシビリティは「使えるかどうか」を示す尺度である。

知っておこう
スマートフォンには，標準でアクセシビリティ機能（音声読み上げ機能など）が搭載されている場合が多い。

アクセシビリティ改善の例

ユニバーサルデザイン

〔③　　　　　　　　　　〕：年齢，性別，国籍などの違い，能力や障がいの有無などによらず，誰にとっても使いやすいデザインのこと。

バリアフリーは，既にある障壁を取り除く考え方である。一方，ユニバーサルデザインは，最初から障壁がないように設計する考え方である。

ユニバーサルデザインを意識したスマートフォンの例

知っておこう

例えば，日常には次のようなユニバーサルデザインを取り入れた商品がある。
・触れただけでわかるシャンプー容器（分かりやすさ）
・弱い力で閉じられるホチキス（体への負担の少なさ）

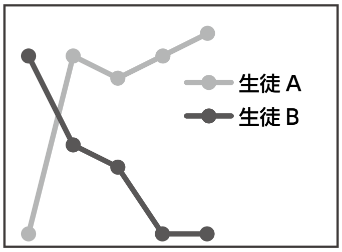
まとめ

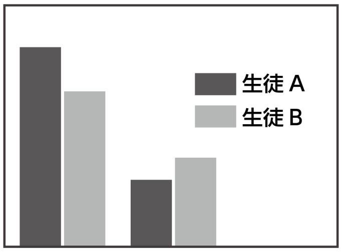
- 世の中にはさまざまな立場の人がおり，自分の認識と他人の認識が一致するとは限らない。全ての人に伝わるデザインを作ることが求められる。
- **バリアフリー**は既にある障壁を取り除く考え方であり，**ユニバーサルデザイン**は最初から障壁がないように設計する考え方である。

Chapter2　実践問題

問 1　自分の身の回りで，ユニバーサルデザインやバリアフリーに配慮したものを 3 つ以上探してみよう。

問 2　次の図について，カラーバリアフリーの観点から，修正すべきところをあげなさい。





＜MEMO＞

第4講　PART3　確認問題

問１　アクセシビリティの説明として最も適切なものを，次の①～④のうちから選びなさい。

①　正常な状態でシステムを使い続けられる度合い
②　幅広い人が使えるかどうかの尺度
③　利用者の増加にあわせてシステムの性能を向上できる度合い
④　利用者の使いやすさを示す尺度

問２　（　ア　）は，既にある障壁を取り除く考え方であり，（　イ　）は，最初から障壁がないように設計する考え方である。

(1)　空欄（ア）に入る語句として最も適切なものを，次の①～④のうちから一つ選びなさい。

①　バリアフリー　　②　ファイアウォール
③　ユーザビリティ　　④　ユニバーサルデザイン

(2)　空欄（イ）に入る語句として最も適切なものを，次の①～④の中から一つ選びなさい。

①　バリアフリー　　②　ファイアウォール
③　ユーザビリティ　　④　ユニバーサルデザイン

＜MEMO＞

第４講　情報デザイン

PART1　情報デザイン

問１　省略

問２　省略

PART2　機能と論理のデザイン

問１　(1)　省略　　(2)　省略　　(3)　省略

PART3　バリアフリーとユニバーサルデザイン

問１　省略

問２　省略

PART4　【発展】Webページと情報デザイン

問１　省略

第 4 講　PART3　確認問題　解答

問 1　②

解説：

アクセシビリティは「幅広い人が使えるか」を示す尺度である。

なお，①はアベイラビリティ，③はスケーラビリティ，④はユーザビリティの説明である。

問 2

(1)　①

解説：

バリアフリーは既にある障壁を取り除く考え方である。

(2)　④

解説：

ユニバーサルデザインは最初から障壁がないように設計する考え方である。